Vision2030（長期構想）ありたい姿の実現に向けて

激化する環境変化に対応し、持続的な企業価値の向上を図るため、長期視点で目指す方向性や必要な備えについてより具体的に示すものとして、2021年に、「Vision2030」を策定しました。そしてVision2030のありたい姿に向かっていくための第1フェーズとなるのが、「中期方針2024」（2022年度～2024年度）です。中期方針2024では新たに社会価値を目標として掲げました。経済価値目標に加え、社会課題解決への貢献に向けた取り組み目標を掲げることで、社会価値と経済価値の好循環を生み出し、豊かな社会の実現に貢献していきます。

中期構想2021
2019年度～2021年度

事業機会
- 通信
- エネルギー
- 自動車
- ヘルスケア

中期経営課題
- ポートフォリオ経営の実践
- 飛躍的な生産性向上と安定的な供給体制構築
- 人と組織と社会の調和

経営目標
売上高：2兆円
営業利益率：17%以上
ROIC（税引前）：20%以上

中期方針2024
2022年度～2024年度

事業機会
通信 / モビリティ / 環境 / ウェルネス

中期経営課題
- 経営変革の推進
- ポートフォリオ経営の高度化
- 筋肉質な経営基盤の形成
- 2030年への備え

経営目標
経済価値
売上高：2兆円
営業利益率：20%以上
ROIC（税引前）：20%以上

社会価値
- 環境
  - 温室効果ガス排出量：20%減（2019年度比）
  - 再生可能エネルギー導入比率：25%
  - ▶P.65
  - 持続可能な資源利用率：2021年度実績から1%改善
  - 循環資源化率：2021年度実績から5%改善
  - ▶P.71
- 多様性
  - 海外間接部門従業員の他拠点での勤務経験比率：7%
  - ▶P.60
- ES
  - 従業員エンゲージメント肯定回答比率：70%以上
  - ▶P.60

Vision2030実現のための第1フェーズ

Vision2030

Innovator in Electronics

ムラタのイノベーションで社会価値と経済価値の好循環を生み出し、豊かな社会の実現に貢献していきます

社会基盤に深く根付く

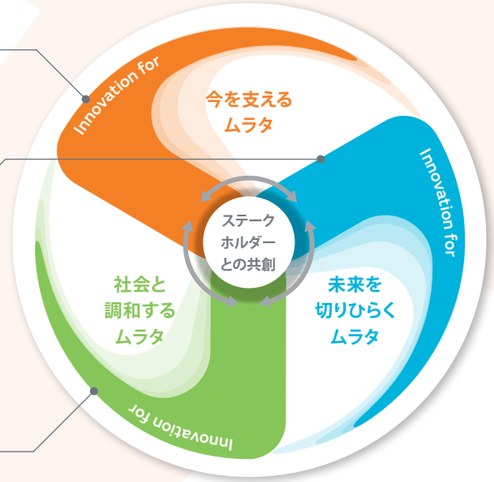
人々の衣食住を豊かにするための社会インフラに、ムラタの電子部品は必要不可欠なものとして使われています。
ムラタは今後も継続的なイノベーションで社会ニーズに応え、部品の進化を図っていきます。
ムラタの部品が社会に広く、深く根付いて、暮らしの“今”を支えます。

社会課題解決を加速する

社会課題解決のツールとしても、エレクトロニクスは幅広く活用されています。
ムラタは部品の提供にとどまることなく、エレクトロニクスを突破口として、地球、社会の持続可能性を追求していきます。
ムラタのイノベーションが、より自由で、暮らしやすい未来の実現を加速させます。

持続可能な事業プロセスを追求する

事業オペレーションで生じる社会や環境への負荷低減においても、ムラタはイノベーションを生み出し、社会と調和する事業プロセスを約束します。



Global No.1部品メーカー
～ムラタがお客様や社会にとって最善の選択となる～

成長戦略

基盤事業の深化とビジネスモデルの進化

1 標準品型ビジネス / 2 用途特化型ビジネス / 3 新たなビジネスモデル創出 × ●通信 ●モビリティ ●環境 ●ウェルネス

4つの経営変革の実行
- 社会価値と経済価値の好循環を生み出す経営
- 仮説思考にもとづく変化対応型経営
- 自律分散型の組織運営の実践
- デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

中長期視点の環境変化
- エレクトロニクス領域の拡大
- デジタル化の進展
- 人口構造やパワーバランスの変化
- 持続可能な社会への転換
- 地政学的リスクの高まり
- ポストコロナ社会への対応

継続課題をやりきる

バックキャストして備えを着実に進める